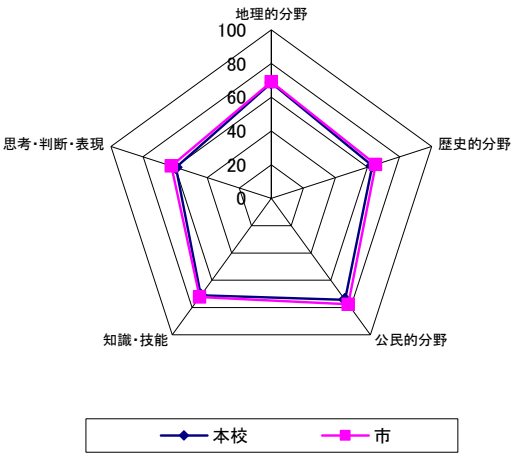


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	68.6	69.2	61.5
	歴史的分野	63.0	65.1	59.1
	公民的分野	74.4	77.6	71.6
観点別	知識・技能	71.0	72.2	66.8
	思考・判断・表現	59.5	62.3	53.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	○世界の気候区分、日本の地形・人口の特色、九州地方の特色は全国と市の正答率を大きく上回っている。 ●理解の個人差が顕著である。	・AIなどのドリル学習を進め、さらに基礎基本の徹底を図り、学習理解の個人差を小さくしていく。 ・グラフや地図の活用により、データの分析、それを説明していく力(地理的なものの見方・考え方)を身につけさせる。
歴史的分野	○卑弥呼・大王・鎖国下の対外政策・問屋制家内工業・国学についての理解は、全国・市の正答率を上回っている。特に、大王や国学については市の正答率より5%近く上回っている。 ●理解の個人差が顕著である。	・歴史的な資料の読み取りが苦手な生徒はピンポイントで個別の対応をしたり、またグループ学習により他者の考えを聞くことにより歴史的なものの見方・考え方を学ばせ、資料の活用能力を身につけさせたりする。
公民的分野	○フランス人権宣言の理解が全国と市の正答率を上回っている。 ●憲法改正への理解が不十分である。	・公民としての知識である「憲法改正手続き」の理解は必要であることから、繰り返し、正確に知識として身につけさせる。 ・リアルタイムな社会の動きに合わせ学習を進化させ、公民としての自分の考えを持つように指導していく。